

4. 微生物検査室の設備について

日本臨床微生物学会の2007年のアンケート調査では、結核検査を行っている971施設中、274施設(28.2%)で安全キャビネットが導入されていません。バイオセーフティの原則は可能な限りハード面で感染を防止し、防止できない部分をソフトで補うことにあります。設備の不備な検査室やトレーニングを行っていない未熟な検査技師が結核菌検査を行うべきではありません。